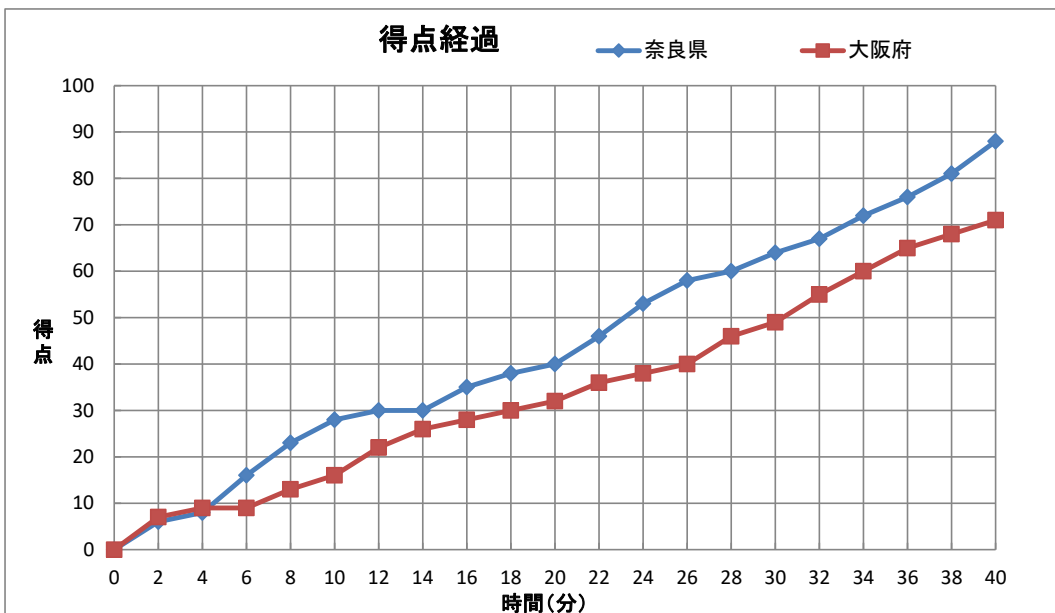


個人トータル表

成年男子		令和6年8月18日 15:00 開始																	
決勝		和歌山ビッグホエール A																	
◎ 奈良県 (A2)	88	<table border="1"> <tr><td>28</td><td>1st</td><td>16</td></tr> <tr><td>12</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>24</td><td>3rd</td><td>17</td></tr> <tr><td>24</td><td>4th</td><td>22</td></tr> </table>				28	1st	16	12	2nd	16	24	3rd	17	24	4th	22	71	大阪府 (A1)
28	1st	16																	
12	2nd	16																	
24	3rd	17																	
24	4th	22																	
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則						
* 4	浦西 将介	2	0	1	0	0	* 4	池原 慶紀	5	1	1	0	1						
* 5	福永 雅刀	10	0	4	2	3	5	石塚 裕也	9	0	4	1	2						
6	桑原 隼介	-	-	-	-	-	* 6	池嶋 一輝	13	0	6	1	3						
* 7	山中 将輝	18	2	5	2	0	* 7	会田 太朗	4	0	2	0	1						
8	川崎 達朗	5	1	1	0	2	* 8	廣山 雅尚	15	1	4	4	1						
9	大正谷 理玖	7	1	2	0	1	9	能登 慎也	-	-	-	-	-						
10	藤高 宗一郎	3	0	1	1	2	10	武田 康生	7	2	0	1	3						
* 11	仲西 佑起	14	2	4	0	1	* 11	新谷 亮	2	0	1	0	0						
12	船山 裕士	0	0	0	0	2	12	香川 弘樹	8	0	4	0	0						
* 13	辻 永遠	17	2	4	3	3	13	金田 拓也	2	0	1	0	2						
14	村上 起哉	0	0	0	0	0	14	菊池 広明	6	0	3	0	1						
15	鱒 勇輝	12	2	3	0	2	15	松本 直之	0	0	0	0	1						
コーチ	田中 一浩	/	/	/	/	0	コーチ	中島 英文	/	/	/	/	0						
Aコーチ	阪上 大輔	/	/	/	/	0	Aコーチ	太田 和利	/	/	/	/	0						
合計		88	10	25	8	16	合計		71	4	26	7	15						
主審: 大野 哲広																			
副審: 大倉 哲也 田中 優志																			



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	36:04	:	:	:	:	:
TeamB	5:21	18:30	23:52	33:51	:	:	:	:

〔戦評〕

【第1Q】奈良県#4浦西、#5福永、#7山中、#11仲西、#13辻、大阪府#4池原、#6池嶋、#7会田、#8廣山、#11新谷のスターティングメンバー。両チーム共にハーフマンツーマンディフェンスでスタート。ゲーム序盤、奈良は積極的なディフェンスから着実に得点を重ねる。終始ディフェンスの強度を緩めず第1Qは28-16の奈良12点リードで終了する。

【第2Q】第2Qに入り大阪は#8廣山のポストプレイ、#5のリバウンドシュートにより徐々にインサイドで加点する。奈良は#5福永、#11仲西の安定した活躍により40対32で、奈良8点リードで前半終了。

【第3Q】流れを掴みたい大阪は開始から2-3ゾーンディフェンスで反撃を試みる。#4池原を中心にゲームコントロールをすると思うように得点が入らない。奈良は#7山中、#13辻の確率の高いシュートで安定したゲーム運びを展開する。その後も#8川崎のゲームコントロールにより64対49、奈良県15点リードで終了。

【第4Q】大阪は#4池原を中心に得点を積極的に試みる。#10武田の3Pシュート、#5石塚の力強いプレイで一時は23点開いた点差を詰めるも奈良はガード陣が落ち着いたゲーム運びを行う。奈良は#11仲西、#13辻、#7山中のシュートも終始安定しており、88対71で奈良県が優勝を収めた。

戦評: 垣内 信明 記録: JBA